

都市再生整備計画 事後評価書

計画の名称	うめきた先行開発地区				
計画の期間	平成30年度 ～ 令和4年度（5年間）	交付対象			
計画の目標					
大目標：エリアブランドの創出をめざし、公民連携による魅力ある公共空間の整備・管理・活用を図る					
目標1：質の高い都市空間の創出					
目標2：良好な都市景観の形成					
目標3：華やかで賑わいのある歩行者空間の創出					
目標4：歩行者・自動車交通の円滑化					
目標5：安心・安全な都市環境の整備					
計画の成果目標（定量的指標）					
・道路占用許可特例の対象となる歩道の歩行者交通量を、従前値（H29年度に実測）より5%増加させる。					
・歩行者空間が魅力的であると感じる人の割合について、80%を達成する。					
定量的指標の定義及び算定式					
	定量的指標の現況値及び目標値				
	当初現況値	中間目標値	最終目標値		
	①（H29）②（H28）	-	①（R4）②（R3）		
① 歩行者交通量調査により、道路占用許可特例の対象となる歩道の歩行者交通量を算出 48,835人（R4）/48,842人（H29）=100%（±0%）	48,842人	-	48,835人 （±0%）		
② アンケート調査により、歩行者空間が魅力的であるとを感じる人の割合を算出 81%（R3）-80%（目標値）=1%	79%	-	81% （+1%）		
事後評価					
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期				
	令和4年12月				
大阪市において評価を実施	公表の方法				
	大阪市ホームページ				
事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する事業の効果の発現状況	・オープンカフェの設置や季節に応じたイベントの実施等により、華やかで賑わいのある歩行者空間の創出を図るとともに、高質な歩道空間の管理や、放置自転車対策の実施、防犯カメラの設置等により、安心・安全な歩行者空間の確保に努めることで、道路占用許可特例の対象となる歩道の歩行者交通量は5年前と同等の状態となった。 ・オープンカフェや広告板の設置等により、良好な都市景観を形成し、華やかで賑わいのある歩行者空間の創出に努めることで、歩行者空間が魅力的であるとを感じる人の割合が増加した。				
II 定量的指標の達成状況	指標①（歩行者交通量）	最終目標値	5%増	目標値と実績値に差が出た要因	・オープンカフェの設置やイベントの実施により、賑わいを創出するとともに、頻繁な巡回を行う等、高質な歩道空間の管理を行うことにより、安全な歩行者空間の確保や歩行者交通の円滑化が達成できたことが考えられる。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、テレワークの推進や人流抑制の影響を受け、目標設定の歩行者交通量の増加には達しなかったと考えられる。
		最終実績値	±0%		
	指標②（歩行者空間を魅力的と感じる人の割合）	最終目標値	80%	目標値と実績値に差が出た要因	・歩行空間の維持管理や広告・オープンカフェの設置等を継続的に実施することにより、良好な都市景観を形成し、華やかで賑わいのある歩行者空間を創出でき、目標値とほぼ同等となっている。
		最終実績値	81%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
・継続的に活動を行うため、都市再生整備計画の更新を行う。（R5～R9年度）					

都市再生整備計画 事後評価書

